

2) 2020 山岳スポーツ振興事業プロジェクト・・事業報告

2020MHC 登山講習と報告写真展・・縮小開催となりました。

・事業目的

現在、北アルプス等を初めとする日本の山々では、中高年登山ブームから、若人の関心を集める幅広い年齢層による市民登山の時代が到来しています。

この市民登山の時代を迎え、山の装備の選び方から山の登り方、行動食や水分の摂り方、高山病対策やレスキューの方法、そして山に咲く高山植物や、山岳撮影のテクニック等を優れたインストラクターより学び、「安全でより楽しい登山」とする学習の場が求められています。

NPO 法人松本ヒマラヤ友好会(MHC)では、市民参加の山岳スポーツ振興事業として、山岳遭難を未然に防ぐことも願い、「安全でより楽しい市民登山」とするために、「ヒマラヤ等高所登山経験豊富な講師の指導」により、系統的に登山技術を習得し、山岳の知識と登山の楽しさを学べる市民参加による「MHC 登山講習」2020年度は、コロナ感染病禍による社会不安、また、講師の鈴木理事長の心臓病による体調不良や写真家内田良平さんの病死により、登山講習中止が相次ぎ、皆様には、ご心配と穂迷惑をおかけいたしました。

そこで以下のように縮小しながら、講習事業を実施致しました。

1、登山説明会の実施・・登山の注意と心得について、MHC 登山講習中に指導。

山の装備の選び方から山の登り方、行動食や水分の摂り方、高山病等、初歩的な医学、初歩的な栄養学知識を習得してもらう。⇒安全登山に役立つように

2、①7/18～7/19 登山講習ハイキング編「初夏の上高地と乗鞍高原」同時に山岳写真撮影会を実施②施②②10/24～10/25 登山講習ハイキング編「紅葉の上高地散策」同時に山岳写真撮影会を実施



上記 1, 2, の受講者は、登山知識技術を習得することで、あらためて安全登山についての認識を深めて頂き、山岳に対する豊富な知識と経験を積んだ愛好家として、また登山パーティーのリーダーとして、養成されていく事でしょう。

また、この企画を実施する事で、長野県の美しい山岳があらためて認識され、幅広い年齢層による市民登山が「安全でより楽しい登山」となる事を心より念願しております。

3、2021年1月4日(月)～2021年1月11日(月)「ネパール文化紀行」・・延期とする

市民参加を募り、松本市との姉妹都市、ネパールの首都カトマンズ市を表敬訪問と釈迦の生地ルンビニを訪問し、日本文化のルーツに触れる。サランコット 1660mに登り、アンナプルナ山群を間近に望むことが出来ます。現天皇陛下も皇太子時代に、登られたピークです。・・社会事情が好転するまで延期とする。



ネパールにおいて、**軽ヒマラヤトレッキング**に参加してもらい、**ヒマラヤの大自然、人々の暮らしと文化に触れてもらう**。そのための体力調整に、**北ア**などで**軽登山**を行い、**登山のための注意と心得**を日頃から学ぶ。

⇒2020年度は、**ネパール文化紀行**でカ市表敬訪問し、姉妹都市交流を進め、釈迦生誕地を訪ね、日本文化のルーツにも触れる。サランコット 1660mに登り、世界で初めて 8000m峰を登頂したアンナプルナ山群を間近に望む。サランコットは、現天皇陛下も皇太子時代に、登られたピークです。

これらの事業は、2021年2月末に、松本駅前**井上デパート本店7階大ホール**にて、「**松本ヒマラヤ友好会山岳写真展**」**カトマンズ・ルンビニ・アンナプルナ展望編**として開催し、広く作品も募集し、市民の皆様にも、姉妹都市カトマンズやネパールヒマラヤの大自然や登山への関心を深めてもらい、岳都交流の理解と発展を願って企画した。

・ 上記の文化紀行延期などの理由から**延期**とした。



2020.2 の「松本ヒマラヤ友好会(MHC)山岳写真展—エベレスト・パノラマ撮影紀行とカトマンズ訪問編」に応募 1000 点、入選 66 点、10 点の優秀作品が松本市長賞、カ市長賞などに選ばれました。全作品は事業報告写真を含め約 150 点が展示されました。次回、皆でまた、頑張りましょう。

○講師・スタッフ

②**登攀指導及び写真指導 鈴木雅則**・・・登山講習の責任者、1950年東京都品川生れ。松本市と姉妹都市ネパール首都カトマンズとの市民交流を進め、姉妹提携以来 30 年の間に、ヒマラヤトレッキングでは 5400m～6500mのピークへ延べ約 160 名以上を登攀隊長として登頂成功に導く。安全登山に多くの実績を持つ。



MHC 登山講習の山岳写真教室では日本代表する写真家故内田良平さん(2019.7.1 逝去、享年 83 歳)に指導を受け、MHC 写真展は **25 年間**主宰を務めていただいた故内田良平さんと監修審査を手がけ、開催を続けてきた。

MHC 理事長 松本市海外都市交流委員会副会長、同委員会カトマンズ部会長
主な作品、写真集小冊子「上高地の美しい自然と槍穂高連ボ縦走」3 巻、「ヒマラヤの青い空とカトマンズ」4 巻、計 7 巻は、県立長野図書館の資料として、保存されています。
井上デパートでの写真展、上高地バスターミナル 2F でのパネル写真展は、多くの人から評価をもらい、人気があります。

③**MHC 山岳委員 (敬称略)**・・・MHC ヒマラヤ高所 4000m～6500m登頂経験者、又は登山熟達者
上条賢介、内山康翁、小松佑次、斉藤正仁、寺島弘高、甕 俊昭、大村裕、種田敏子、他
折野和富 にお手伝い、登攀サポートありがとうございました。

事業の効果 MHC 登山講習参加者は、山の装備、山の登り方やレスキューの方法などの**登山技術**、
山岳撮影技術や高山植物などの**知識**、行動食や水分、高山病対策などの**初歩的な医学**
栄養学の**初歩的知識**も得て、安全登山についての認識を深めたこと、思われる。